



小学部趣向走



幼稚園部趣向走

運 動 会



綱 引 き



中・高等部趣向走

無花果

No.186

令和3年7月22日発行
発行 秋田県立聴覚支援学校
秋田市南ヶ丘一丁目1番1号

明日に向かって、よいドン!

校長 新井敏彦



四月より校長として赴任しております。本校は三度目ということで、この学校や子どもたちとの出会い、関係する方々との出会いを、たいへんうれしく思っております。どうぞよろしく願います。

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るってから、早一年半の月日が流れようとしています。本校では、三密の回避など「新しい生活様式」を踏まえた学校生活が続いています。今年度は、県教育委員会の方針に基づいて、「感染症対策の徹底と健やかな学びの保障との両立」に取り組んでいます。どのようにすれば教育活動が実施できるのか、どのようにすればより安全なのか、地域の感染状況を見ながら検討を重ねる日々が続いています。

五月十五日(土)は運動会。昨年度は、秋に延期したものの、結局中止となりました。「何としても今年こそは」という子どもたちや先生たちの思いが通じたのか、当日は雲一つない快晴となりました。事前の健康チェックシート、種目の削減、距離をあげた活動など、ありとあらゆる対策を講じて実施することができました。子どもたちも、保護者の方も、先生たちも、笑顔あふれる一日となりました。学校としても、令和三年度のよいスタートとなりました。

新型コロナウイルス感染症の終息はまだ見通せませんが、時間は止まってくれません。本校は、令和三・四年度、ICT活用推進モデル校として、県教育委員会から指定されました。先生たちは、研修を重ねながら、全校体制で取り組もうとしております。

また、今年度は学校創立百十年目を迎えました。来年度は、様々な創立百十周年記念事業を計画したいと考えています。しばらく会えなかった人たちと会う、久しぶりに学校に集まる、そんな明日に向かって、聴覚支援学校は走り出します。保護者の皆様、同窓会や後援会の皆様、そして地域や関係機関の皆様、明るい明日を信じて、共に走りましょう!

各学部の学習・行事コーナー

幼稚園

お誕生日 おめでとう！

～五月のお誕生会～

菅原 研

五月二十四日、五月のお誕生会が行われました。誕生日を迎えたのは、うめ組の謙信さんとばら組の惟愛さん。二人は冠やマントを身に着けて、友達から大きなプレゼントやたくさん「おめでとう」の言葉をもらい、ちよっぴり恥ずかしそうでも、とっても嬉しそうに笑顔を見せてくれました。お誕生会の最後には、幼稚園部の子どもたち十人全員で、元気に「たんたん誕生日」の歌を歌ってお祝いをしました。



また来年、ケーキのろうそくが一本増えるまで、どんな楽しいことが待っているのかな。楽しみですね。

小学部

大きなあれ 小学部の畑

佐藤 悦子

五月、小学部の畑に野菜の苗を植えました。さつまいもとじゃがいもはみんなの野菜。さらに、三年生はかぼちゃとなすとにんじんを、四年生は枝豆とかぼちゃを植えました。畝に開けた小さな穴に苗を置き、土をどんどんかおせていきました。作物の名前を書いた看板もみんなで協力して作りました。植えた当初はか細く弱々しかった苗も、「大きなあれ」と朝に昼に子どもたちが畑に出て行って水やりをしたおかげで、今では青々とした葉を茂らせています。「早く食べたいね」という子どもたちの願いが叶う日を私たちは心待ちにしています。



中学部

新入生を迎える会

吉尾 香

例年よりも桜の開花が早かった四月、中学部棟にも新入生二人の笑顔の花が咲きました。

「新入生を迎える会」では、生徒と先生がお互いに自己紹介。初めは緊張していた二人も、好きなものや苦手なものを紹介し合ううちにリラックスしていきました。中学部全員の気持ちが一つになったのは「イラスト伝言ゲーム」が成功した瞬間です。二人が描いたキャラクターは見事に特徴を捉え、最後の先生が名前を答えると…自然に全員がハイタッチをして喜び合いました。



高等部

暗唱発表会

兎澤 花菜

高等部では毎年三回、課題文を暗記して発表する「暗唱発表会」を行っています。これは、正しい日本語や豊かな手話表現を身に付けるとともに、自分が普段使わない言い回しや慣用語に接すること、語彙力を高めるといってねらいがあります。今年度第一回目となる発表会では、一週間頑張った暗記した課題文を堂々と暗唱する生徒たちの姿が見られました。入学して間もない一年生は、第二回目からの参加になります。先輩たちの発表を見た一年生からは「全部暗記してすごい」という感嘆の声が聞かれました。



寄宿舎から

「ひまわり会」役員会の活動

菅原 玉樹

寄宿舎には「ひまわり会」という自治会があり、様々な行事の係決めをしたり、みんなの意見をまとめたりする役割があります。役員は、前期と後期に分かれて活動するため、全員が一度は仕事を経験します。ひまわり会の一員としての自覚をもち、自分たちが過ぎしやすい寄宿舎生活になるよう活動しています。

今年度初めての視覚支援学校との合同余暇活動に向けて、合同役員会を行いました。内容の確認や係分担などについて、スマホアプリやホワイトボードなどを活用して意見交換することができました。



二年ぶりの運動会

運動会実行委員長 佐藤 剛大

透き通る青空にめぐまれ、五月十五日に運動会を開催することができました。

久しぶりの運動会。全力で駆けた徒競走、各学部のカラーを出した趣向走、両組とも力一杯頑張った綱引きなど、一人一人が持てる力を出し奮闘する姿や、幼稚部から高等部まで、学部を超えてお互いに応援し合う姿が見られました。最終種目のリレーでもすべての子どもたちが力を発揮しました。規模を縮小しての開催でしたが、終了後は、子どもたちの満足感いっぱい笑顔があふれていました。

感染症対策を講じての開催にご協力いただき、ありがとうございました。



運動会



各組キャプテンから

心を一つに

(赤組) 専攻科二年 荒川 太陽

運動会で、私はキャプテンを務めました。みんなが頑張れるように声をかけました。綱引きでは、みんなで力を合わせて引くことができました。リレーでは、アンカーとして最後の一周を走りました。白組に追いつくように一生懸命頑張って走りました。みんなの心が一つになり、とてもいい運動会になりました。

笑力全開

(白組) 高等部三年 門脇 紗南

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で運動会ができなかったのですが、今年度の開催はとてうれしかったです。白組は、みんなが応援し合っているから楽しめるよう、「笑力全開(しやうりょくぜんかい)」を合言葉にしました。白組全員で力を合わせ、色別対抗リレーでは一番にゴールテープを切ることができました。総合成績は準優勝でしたが、私にとって思い出に残る運動会になりました。

趣向走

しんかんせんでしゅっぱつ!

幼稚部 鈴木るみ子

幼稚部の子どもたちは、新幹線が大好き。カラフルな制服の運転士さんに変身し、やる気満々です。橋を渡り、山を越え、トンネルをくぐり、最後は新幹線にお客さんを乗せてゴール!運動会が初めてのうめ組さんも、練習から楽しんで取り組む姿が見られました。

目指せ!金メダル

(小学部オリンピックピック)

小学部 熊谷 花菜

オリンピックを再現し、平均台、キャタピラ、サッカーのサーキット走に取り組みました。ゴールをした後にブロックを積み上げると、大きな金メダルが完成!頑張ってチャレンジする六人の姿と、「やったー!」と喜ぶ笑顔がキラキラと輝いていました。

ニューノーマル、趣向走

中・高等部 赤平 成美

高等部生徒たちで、コロナ禍でもみんなが盛り上がるような趣向走「シン・障害物競走」を考え出しました。お客さんも楽しんでもらえるよう、大きな文字で書かれたくじや障害物の配置、ボールや棒などのバリエーションを工夫しました。保護者や他学部の子どもの笑顔がたくさん見られ、中・高等部生徒にとって達成感を味わえた趣向走になりました。

新入生の紹介

幼稚園

にっこりなかよし うめ組さん

うめ組担任 菅原 奈緒



今年度の幼稚園新入生は、新幹線が大好きな謙信くん、ウルトラマンが大好きな将矢くん、紫色が大好きな咲代子ちゃんの三名です。好きなものはみんな違います。好きなものはみんな違います。すぐに仲良しになり、笑顔で遊んでいます。

入学式では少し不安そうな顔をしていた三名ですが、今はもうすっかり慣れ、学校探検で先生たちとお話をしたり、運動会で力いっぱい走ったりしました。これから三人と一緒に、いろいろなことにチャレンジしていこうね。

中学部

Jump ー つぼみから花へ

一年担任 加賀谷 鈴子



四月八日の入学式では、これから中学部生として、様々なことに挑戦していこうとするたくましい二人の姿が見られました。

琉加さんの「みんなでジャンプ」と琴音さんの「つぼみから花へ」を合わせて、一つの学級目標にしました。「一緒に行事をがんばりたい」、そして「経験を積み重ねて成長していきたい」という二人の思いが込められています。

毎日が新しいことの連続ですが、少しずつ、確実に成長を重ねています。これからどのような花を咲かせるのか、期待でいっぱいです。

高等部

新たな扉をひらく

一年担任 小棚木 明子



高等部に鈴木陽心哉さんと伊藤蘭丸さんの二名が仲間入りしました。今年からクラスメートになった二人ですが、入学後間もなくして、楽しそうに会話する様子が見られました。そんな二人が決めた学級目標「新たなライフの扉をひらこうー一歩一歩高みをめざす自分」。慣れない生活の中でも、前向きに進んでいこうとする意気込みが感じられます。新しい扉をどんどん開いて、新しい世界と新しい自分に出会ってほしいと願っています。

高等部専攻科

前途洋洋

一年担任 上山 剛



この春、久しぶりに専攻科生が入学しました。高等部の専攻科生として、高等部の活動や運動会など後輩の見本になるよう毎日頑張っています。また、将来の自己実現に向けて、職場実習も頑張っています。今年度の学級目標は「前途洋洋（ぜんとうようよう）」。

修了後の生活に希望と期待を込めた言葉として考えました。「前途洋洋」な人生に向かって、日々の努力を継続し、充実した学校生活を送ってほしいと思います。

PTAから

コロナ禍だからこそ
知恵を出し合って

PTA会長 高橋 すみか

新型コロナウイルスが私たちの生活に影響を与え始めてから一年以上が経ちました。

不便なことが多い日々ですが、他県ではスマホ越しで行う「遠隔手話通訳」等の新しい制度の試みを始めている市町村があります。これにはまだ課題があるようですが、手話通訳が少ない地域においても期待されています。

ウェブ会議もそうですが、コロナ禍で生まれた新しい文化には目を見張るものがあります。

PTAにおいても、知恵を出し合い、新しい活動ができればいいなと考えています。よろしくお願ひします。

編集後記

学校創立百周年を記念して植えた無花果の木が、今年二つ実をつけました。来年度は、創立百周年を迎えます。

